

カンナムセブランス病院



강남세브란스병원
GANGNAM SEVERANCE HOSPITAL

「調達費をできるだけ抑えようと、古いPCでもテストしてみました。驚いたことに、新しいマシンと比べてもVDI環境でパフォーマンスに大きな違いがなかったのです。同じ機材を使い続けることができ、経費を大きく削減できました」

延世（ヨンセイ）大学校
カンナムセブランス病院院長
キム・スン・イル氏

課題

最新の個人情報保護法に適合し、ハードウェア、メンテナンス、電力コストを削減しつつ、なお医療スタッフの仕事に支障が出ないようなソリューションを求めています。モバイル環境のサポートも必須でした。

2010年当時、カンナムセブランス病院（GSH）には36部門で合計804の治療室がありました。がん病棟、脊髄損傷病棟、歯科センターのほか、言語リハビリ室、筋疾患、脊髄研究所を運営。さらに、健康促進センターや心臓血管センターなど主要疾患の専門施設も備えていました。GSHには外傷を受けた患者の治療を専門とするソウル初の外傷治療センターもあったのです。

VMware Horizon View™をベースとしたVDI環境に移行することで、GSHはハードウェアをアップグレードする出費を避けつつ、新しいセキュリティ要件を満たした上、医療情報へのモバイルアクセスを向上させることができました。

GSHが開業した当初、ソウルのカンナム地区には十分な医療施設がありませんでした。親大学の延世（ヨンセイ）大学校のモットー「愛、奉仕、キリスト教精神」を受け継ぎ、GSHは患者の治療に最新の医療科学に基づいた総合的、ホリスティックなアプローチを用い、教育、研究、治療の施設として高い評価を得ています。

病院の発展とともに、ITインフラへの投資が必要であることがわかってきました。さらに、韓国でも新しく個人情報保護法が成立し、患者の個人情報を保護するシステムが必要となりました。その上、モバイル環境をフルに活かし、かつコストパフォーマンスを見据えたシステムが必要となったのです。

カンナムセブランス病院の選択：VMware Horizon View™

デスクトップの仮想化を実現するソリューションはマーケットにあふれていました。GSHはあらゆる可能性を追究、検討し、古くなってきたパソコン環境でパフォーマンスの向上を目指しました。どのソリューションにもそれぞれの長所や弱点があった中で、VMware Horizon View™はもっとも安定したパフォーマンスを提供しました。VDI環境は3～5年経った古いPCでも最新のPCでも同等の威力を発揮しますが、それはすなわち、デスクトップPCを買い換えることなく移行が実現するということでした。

VMware Horizon View™が選ばれた理由はそれだけではありません。仮想デスクトップ環境ではディスクスペースがサーバー上の各ユーザーに割り当てられるのですが、このため、それぞれのディスク容量が最小で済むという点も大きな決め手となりました。

導入環境

VMware Horizon View™ 5

プラットフォーム

ハードウェア：IBM x3650 M3 Server/DELL
EqualLogic Storage

ソフトウェア：Microsoft Windows Server 2008
Microsoft Windows 7

必要ディスク容量は削減、モバイル機能は拡張

GSH は VMware Horizon View™ 5 の初期バージョンを配備しました。これにより、エンドユーザーには OS と重要アプリケーションが提供されると同時に、ディスクイメージ・シェアリングの恩恵を最大に受けることができるようになりました。複数の仮想マシンで同じ OS が使用されている場合、各々がディスクイメージを持つと容量のロス是非常に大きくなります。しかし、VMware Horizon View™ ではディスクイメージが可能な限りシェアされるため、ディスク容量を大変効率よく使用することができるのです。

その恩恵は一目瞭然。競合他社のソリューションと比べ、リソースの使用率が最大 70% も抑えられるのです。

GSH はこれまで病院の医療情報システムに専用のモバイルアプリを用いてきましたが、開発が医療スタッフのニーズの変化について行けていないのが現状でした。VMware ソリューションを導入することで従業員はアップル社の iPad などのタブレットをモバイル PC 代わりに使えるようになり、オーダーメイドのモバイルアプリを開発することなく医療スタッフの満足度を上げることができました。

VDI 環境の拡張計画

GSH の最終目標は全治療室にフル VDI 環境を実現することです。これにより、ハードウェアのコストのみならず、不正ソフトウェアを監視するコストも抑えることができます。医療情報システムへのアクセスを 24 時間可能にするために必要な電力も大きく減らすことができます。VDI の導入範囲を拡大することで、GSH が実施している効率向上プログラムが実現するのです。

導入効果

- 現存 PC のアップグレードなしで VDI による新システムが導入可能
- ディスクイメージをシェアすることでディスクの使用効率が向上
- 消費電力の削減
- 仮想化ソリューションにより医療情報システムへのモバイルアクセスが実現